

このニュースはFAXとメールで送信しています。地域民報への転載、各支部への配布にご活用下さい。

さっぽろ

市議団ニュース

2014 年 3 月 4 日

No.95

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

《空き家対策求める》 予算特別委員会で宮川潤議員が質問

宮川潤議員は2月28日の第二部予算特別委員会で、空き家対策を取り上げて質問しました。

宮川議員は、「老朽化した廃屋が一軒でもあると、雑草の繁茂、ごみ不法投棄、動物のすみかになる。防犯、そして倒壊の危険など、地域の重大問題となります。新たな法律と条例の進ちょく」について、質問しました。

答弁に立った**大場里樹時建築安全担当部長**は、「今国会にも法案が提出される予定であり、条例も必要と考えている。空き家の除却等の手続きや、更地にすると土地の固定資産税が高くなることなどを盛り込むことを想定している」と答えました。

さらに**宮川議員**は、東苗穂10条3丁目の、建築途中で中止されたまま9年間放置されている違法建築アパートについて、「9年経過し、何故撤去されないのか」と経過と今後の対応をたずねました。**大場部長**は「除却命令を出し、さらに催告書を送付した」と、**高橋稔都市局長**は「時間をかけずに次のステージに進める」と前向きの答弁をしました。

(※ これまで空き家対策は市民まちづくり局が所管でしたが、新年度から都市局へ移ります。)

《省エネ住宅補助制度、市民への周知を》 小形議員が質問

小形議員は2月28日の第二部予算特別委員会で、札幌版次世代住宅普及促進事業を取り上げ質問しました。この事業は、地球温暖化対策として、家庭におけるエネルギー消費の削減が目的です。新築住宅を5つの等級に分けて等級によって20～200万円を補助するもので、来年度予算は9,900万円となっています。

小形議員は「市のアンケート結果では2割程度の市民にしか知られていない」「市民の環境意識への高まりに依拠しながら、制度を周知させることが大事ではないか」と質問しました。

入江住宅担当部長は「ハウスメーカーへ高断熱住宅の必要性を理解してもらい、積極的に説明してもらうのが効果的。事業者向けの説明会やセミナーも開く」「高断熱住宅の素晴らしさを知ってもらうには実物を見ていただくのが効果的。モデル住宅の展示をしている」と答えました。

小形議員は「補助費の増額も検討し、今年度150件の目標達成にぜひ力を尽くしていただきたい」と求めました。